

テナント ユーザーとしての App Launchpad の使用

2020 年 10 月 15 日

VMware Cloud Director App Launchpad 2.0

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>)

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴィエムウェア株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1
田町ステーションタワー N 18 階
www.vmware.com/jp

Copyright © 2020 VMware, Inc. All rights reserved. 著作権および商標情報。

目次

1	App Launchpad について	4
2	App Launchpad の概要	5
	App Launchpad テナント ポータルにアクセス	5
	利用可能なアプリケーションの確認	5
	アプリケーションに関する詳細を確認	6
	コンテナ アプリケーションの起動	6
	アプリケーションの起動	8
3	テナント ユーザーとしてのアプリケーションの操作	11
	アプリケーションの電源オフ	11
	アプリケーションの電源オン	11
	アプリケーションを削除	12
	仮想データセンター内のアプリケーションの vApp の表示	12
	アプリケーションのコンソールを開く	13

App Launchpad について

1

VMware Cloud Director[®] App Launchpad™ は VMware Cloud Director™ のプラグインであり、開発者や DevOps エンジニア向けにデプロイ対応アプリケーションのカタログを提供します。

App Launchpad を使用することで、基盤となるインフラストラクチャを管理することなく、アプリケーションの完全なスタックを VMware Cloud Director にデプロイできます。

App Launchpad 2.0 以降では、テナント ユーザーは事前設定されたコンテナ アプリケーションを Kubernetes クラスタにデプロイできます。コンテナ アプリケーションをデプロイすると、App Launchpad は構成ファイルを公開するため、テナントはコンテナ アプリケーションの詳細設定を微調整できます。

App Launchpad のユーザー インターフェイスは、VMware Cloud Director tenant portal 内に統合されています。

App Launchpad の概要

2

シングル クリックでアプリケーションを実行するには、最初に App Launchpad テナント ポータルにアクセスし、次に利用可能なアプリケーションを確認して、使用するアプリケーションをデプロイします。

この章には、次のトピックが含まれています。

- App Launchpad テナント ポータルにアクセス
- 利用可能なアプリケーションの確認
- アプリケーションに関する詳細を確認
- コンテナ アプリケーションの起動
- アプリケーションの起動

App Launchpad テナント ポータルにアクセス

VMware Cloud Director tenant portal を使用して App Launchpad テナント ポータルにアクセスします。

前提条件

App Launchpad テナント ポータルにアクセスするには、VMware Cloud Director の システム管理者 が App Launchpad をインストールして構成する必要があります。

手順

- 1 Web ブラウザで、組織の VMware Cloud Director テナント ポータル URL に移動します。
たとえば、`https://vcloud.example.com/tenant/myOrg` などです。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
- 3 メイン メニュー (≡) から、[App Launchpad] を選択します。

結果

App Launchpad テナント ポータルが開きます。

利用可能なアプリケーションの確認

VMware Cloud Director システム管理者が組織に公開したアプリケーションを確認できます。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (☰) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 特定のアプリケーションを検索する場合は、組み込みの検索エンジンを使用します。
- 4 (オプション) 組織の特集アプリケーションの完全なリストを確認するには、[機能アプリケーション] セクションで [すべて表示] をクリックします。
- 5 組織内のデプロイで使用可能なアプリケーションの完全なリストを確認するには、[すべてのアプリケーション] セクションに進みます。

アプリケーションに関する詳細を確認

App Launchpad のテナント ポータルでは、システム管理者が組織に公開したアプリケーションの技術的な詳細と利用可能なバージョンを確認できます。

Bitnami アプリケーションの詳細を確認することしかできません。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (☰) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 確認したいアプリケーションを検索するには、組み込みの検索エンジンを使用し、[詳細] をクリックします。
[機能アプリケーション] および [すべてのアプリケーション] リストを使用して、アプリケーションのリストを参照することもできます。

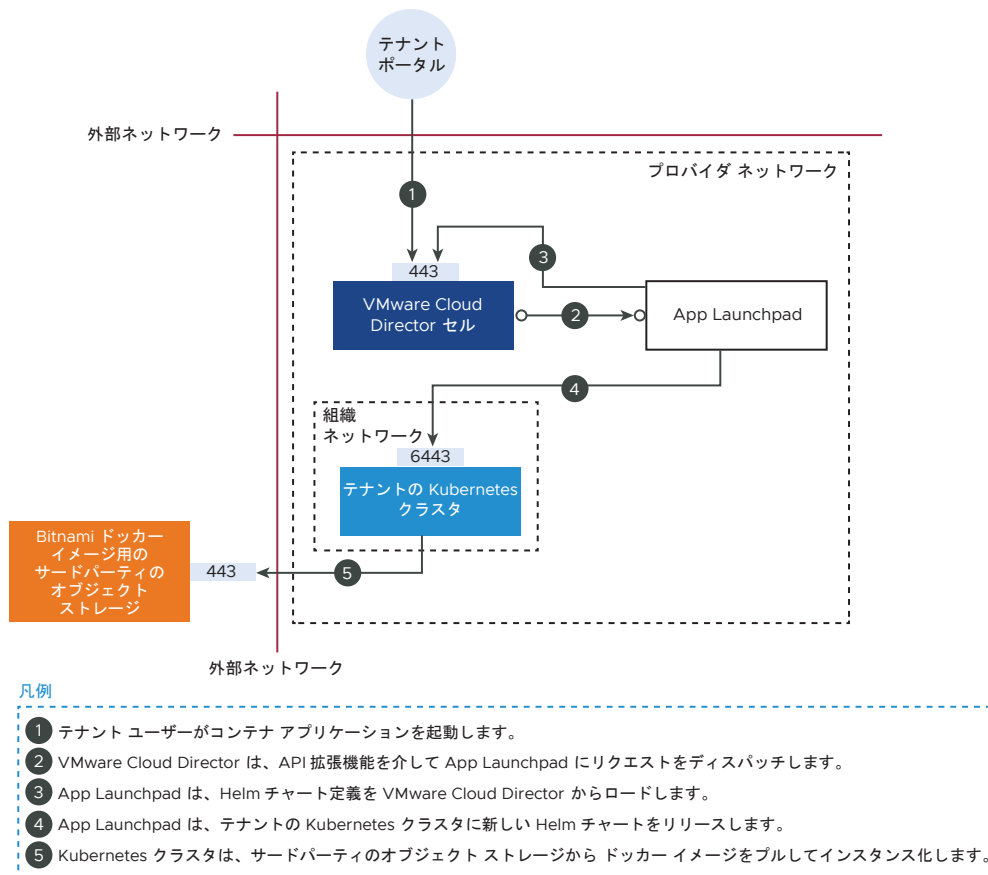
結果

選択したアプリケーションの詳細が表示されます。

コンテナ アプリケーションの起動

App Launchpad から、コンテナ アプリケーションを Kubernetes クラスタにデプロイできます。

次の図は、App Launchpad を使用してコンテナ アプリケーションを起動するワークフローを示しています。



前提条件

- VMware Cloud Director インスタンスに vApp ユーザー ロールまたは同等の権限セットが割り当てられていることを確認します。詳細については、[事前定義ロールとその権限](#)を参照してください。
- App Launchpad がテナント Kubernetes クラスタにアクセスできることを確認します。組織のルーティングされたネットワークの背後に Kubernetes クラスタがデプロイされている場合は、追加の構成が必要です。[「ルーティングされたネットワークを使用して、テナント ユーザーが Container Service Extension インスタンスのクラスタにコンテナ アプリケーションをデプロイできない」](#)を参照してください。
- テナント Kubernetes クラスタが、Bitnami Docker イメージが保存されているサードパーティの Docker ハブにアウトバウンド アクセスできることを確認します。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (≡) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 起動するアプリケーションを検索するには、組み込みの検索エンジンを使用し、アプリケーションを選択して[起動] をクリックします。
[機能アプリケーション] リストを使用することもできます。

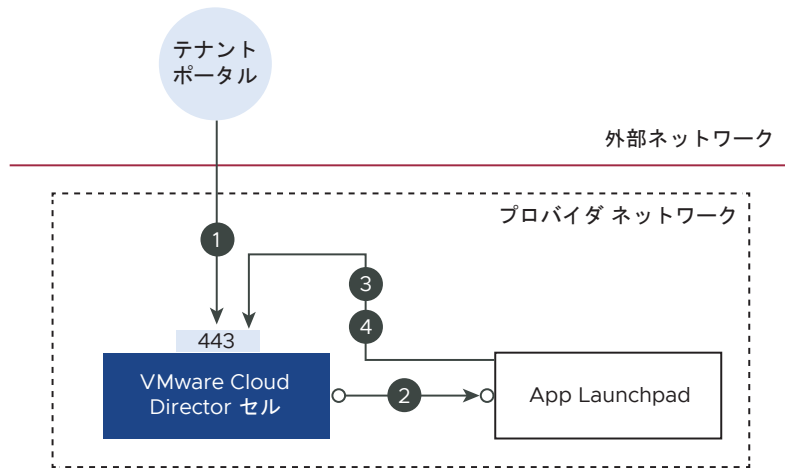
コンテナ アプリケーションを検索するには、アプリケーション カードの右上隅にあるコンテナ ラベルを探します。

- 4 アプリケーションの名前を入力します。
- 5 ターゲットの Kubernetes クラスタを選択します。
- 6 (オプション) アプリケーションの詳細設定を編集します。
 - a [詳細設定を表示] をクリックします。
 - b YAML エディタを使用して、アプリケーションの設定を編集します。
 - c (オプション) エディションを確認するには、[変更] をクリックします。
- 7 [起動] をクリックします。

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動すると、App Launchpad は組織の仮想データセンターに vApp をデプロイします。

次の図は、App Launchpad を使用して仮想マシン アプリケーションを起動するワークフローを示しています。



凡例

- ① テナント ユーザーが仮想マシン アプリケーションを起動します。
- ② VMware Cloud Director は、API 拡張機能を介して App Launchpad にリクエストをディスパッチします。
- ③ App Launchpad は、VMware Cloud Director からデフォルトの組織設定、Edge ネットワーク構成、および vApp 情報を読み取ります。
- ④ App Launchpad は、VMware Cloud Director の組織 vDC で vApp をインスタンス化します。

前提条件

VMware Cloud Director インスタンスに vApp ユーザー ロールまたは同等の権限セットが割り当てられていることを確認します。詳細については、[事前定義ロールとその権限](#)を参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (☰) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 起動するアプリケーションを検索するには、組み込みの検索エンジンを使用し、アプリケーションを選択して[起動] をクリックします。

[機能アプリケーション] および [すべてのアプリケーション] リストを使用して、アプリケーションのリストを参照することもできます。

- 4 アプリケーションの名前を入力します。
- 5 (オプション) デプロイの詳細を編集するには、[詳細を表示] をクリックします。

サービス プロバイダには、アプリケーションのデフォルトのデプロイの詳細が定義されています。必要に応じて、これらの詳細を編集できます。

- a アプリケーション デプロイのターゲットの場所を選択します。
- b デプロイ サイズを選択します。
- c アプリケーションの IP アドレスを選択します。

オプション	説明
内部 IP アドレス	<p>仮想マシンが接続されているサブネットの外部から仮想マシンにアクセスするために使用することができないプライベート IP アドレス。</p> <p>次のタイプのネットワークを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 隔離ネットワーク ■ DNAT 構成から使用可能な IP アドレスのない経路指定ネットワーク
外部 IP アドレス	<p>仮想マシンが接続されているサブネットの外部から仮想マシンにアクセスするために使用される IP アドレス。</p> <p>次のタイプのネットワークを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 直接ネットワーク ■ DNAT 構成から使用可能な IP アドレスがある経路指定ネットワーク

- d 詳細設定を編集するには、[詳細設定を表示] をクリックします。
- e ネットワークを選択します。
- f (オプション) ファイアウォール ルールを選択します。
- g ストレージ プロファイルを選択します。
- 6 (オプション) 起動スクリプトを追加します。
 - a [スクリプトの追加] をクリックします。
 - [スクリプトの追加] ウィンドウが開きます。
 - b コードを貼り付けて、[保存] をクリックします。

7 (オプション) メタデータ タグを追加します。

- a [タグの追加] をクリックします。
- b タグのキーと値のペアを入力します。
- c 必要に応じて、[タグの追加] をクリックし、タグのキーと値のペアを入力します。

8 [アプリケーションの起動] をクリックします。

VMware Cloud Director tenant portal のタスク リストに、仮想アプリケーションの作成タスクが表示されます。アプリケーションが開始されるまでに数分かかる場合があります。アプリケーションが開始されたら、[マイ アプリケーション] リストで確認できます。

テナント ユーザーとしてのアプリケーションの操作

3

テナント ユーザーは、デプロイされたアプリケーションの電源をオン、オフ、および削除できます。テナント ユーザーは、VMware Cloud Director の仮想データセンターでアプリケーションを開いて、アプリケーションのコンソールを開くこともできます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- アプリケーションの電源オフ
- アプリケーションの電源オン
- アプリケーションを削除
- 仮想データセンター内のアプリケーションの vApp の表示
- アプリケーションのコンソールを開く

アプリケーションの電源オフ

仮想データセンターのリソースを保存するには、使用しないアプリケーションを電源オフします。後でアプリケーションを電源オンできます。

前提条件

vApp ユーザー ロール、または VMware Cloud Director に割り当てられている同等の権限のセットがあることを確認します。詳細については、vCloud Director のドキュメントの[事前定義ロールとその権限](#)を参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (≡) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 [マイ アプリケーション] タブで、電源をオフにするアプリケーション vApp を検索します。
- 4 [アクション] ドロップダウン メニューから [電源オフ] を選択し、操作を確定します。

アプリケーションの電源オン

アプリケーションを電源オフした後、もう一度使用する必要がある場合は、電源オンします。

前提条件

vApp ユーザー ロール、または VMware Cloud Director に割り当てられている同等の権限のセットがあることを確認します。詳細については、vCloud Director のドキュメントの[事前定義ロールとその権限](#)を参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (☰) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 [マイ アプリケーション] タブで、電源をオンにするアプリケーション vApp を検索します。
- 4 [アクション] ドロップダウン メニューから [電源オン] を選択します。

結果

パワーオン操作が正常に完了したら、アプリケーションの使用を開始できます。

アプリケーションを削除

不要になったバケットをクリーンアップするためには、App Launchpad からアプリケーションを削除できます。

前提条件

- 削除するアプリケーションが電源オフ状態であることを確認します。
- vApp ユーザー ロール、または VMware Cloud Director に割り当てられている同等の権限のセットがあることを確認します。詳細については、vCloud Director のドキュメントの[事前定義ロールとその権限](#)トピックを参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (☰) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 [マイ アプリケーション] タブで、削除するアプリケーション vApp を検索します。
- 4 [アクション] ドロップダウン メニューから [削除] を選択し、操作を確定します。

結果

アプリケーションが削除され、テナント ユーザーは使用できなくなります。同じアプリケーションを使用するには、再度デプロイします。[アプリケーションの起動](#)を参照してください。

仮想データセンター内のアプリケーションの vApp の表示

アプリケーションが実行されている vApp の設定を確認または編集するには、組織の仮想データセンターで vApp を開きます。

前提条件

vApp ユーザー ロール、または VMware Cloud Director に割り当てられている同等の権限のセットがあることを確認します。詳細については、vCloud Director のドキュメントの[事前定義ロールとその権限](#)を参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (≡) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 [マイ アプリケーション] タブで、仮想データセンターで表示するアプリケーション vApp を検索します。
- 4 [アクション] ドロップダウン メニューから、[仮想データセンターの表示] を選択します。

結果

VMware Cloud Director のテナント ポータルの [vApps] タブが開きます。vApp の詳細を確認および編集できます。

アプリケーションのコンソールを開く

アプリケーションが実行されているマシンのオペレーティング システムの設定を確認または編集するには、アプリケーションのコンソールを開くことができます。

前提条件

- コンソールを開くアプリケーションが電源オンされていることを確認します。
- vApp ユーザー ロール、または VMware Cloud Director に割り当てられている同等の権限のセットがあることを確認します。詳細については、vCloud Director のドキュメントの[事前定義ロールとその権限](#)トピックを参照してください。

手順

- 1 VMware Cloud Director テナント ポータルにログインします。
- 2 メイン メニュー (≡) から、[App Launchpad] を選択します。
- 3 [マイ アプリケーション] タブで、コンソールを開くアプリケーション vApp を見つけ、[コンソールを開く] をクリックします。

結果

新しい Web ブラウザ タブで、コンソールが開きます。